WEEKLY REPORT 第986回 平成23年8月25日号

佐世保中央ロータリークラブ週報

第2740地区 佐世保中央ロータリークラブ 創立：1990年9月29日 認証：1990年10月22日

■事務局住所：〒857-0872長崎県佐世保市上京町3-2セントラルホテル佐世保419号室 TEL.0956-25-5595 FAX.0956-25-3445 Mail.chuo-rc@theia.ocn.ne.jp
会 長：田代 博之／副会長：富永 博美／幹 事：八重野 一洋

2011~2012 年度クラブスローガン

念ずれば花ひらく
楽しもうロータリー

国際ロータリー 2011~2012 年度テーマ

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

本日の出席率８８．３７%：会員数４４名・出席３７名・欠席５名・出席規定免除会員（２） １名・ビジター４名
前々回の修正出席率１００%：出席３４名・メークアップ８名・出席規定免除会員（２） ０名

会長挨拶・田代 博之君



皆さんこんにちは。最近は集中豪雨的な雨が雷とともに降っていますが、昔とは雨の降り方も少し変わってきています。どうやら亜熱帯地域になったようです。それに札幌より沖縄の方が気温が低いという逆転現象も起きています。

8 月 20 日に北高の同窓会がありました。480 人という今までに無い規模の会になりました。その中で同窓会の会長が、竹本会長から牛島会長に代わりました。竹本さんお疲れ様でした。牛島さんの素晴らしい会長挨拶がありましたが、お嬢さんの絵里沙さんの話によると家で大分練習をされたようです。牛島さんの娘さん、岩政君の息子さんがいて時代の流れを感じました。二人ともしっかりしていて、どんどんいろんな人に挨拶に回っていました。

今日は佐世保中央ロータリー基金会の総会を開きます。基金会の基本は有志の集まりですが全員に入会していただいています。この後総会の時間に、財団委員長の橋口さんより財団の説明、どうして基金会を作ったのかその経緯、そして何故新しい規約を作ったのかの説明をしていただき、採決をとりたいと思います。
この話は、東日本大震災のとき、基金の取り崩しは出来ないかという話から始まりました。当然前の規約では出来ません。それと基金そのもののあり方を見直す時期にきているのではないかということで、基金会の役員会でいろいろ協議をしました。その内容を理事会に提出して今日の総会になりました。
今年度の、地区のスローガンは「家族」「継続」「変化」です。その中の「変化」に、時代の変遷や地域の新しいニーズに合わせてクラブも「変化」していかねばならない。その為にクラブのたな卸しを行い、3 年程度の長期スパーンで長期計画を立案してくださいと言っています。そのたな卸しのひとつが、佐世保中央ロータリー基金会の規約の改定案だと思っています。よろしく協議をお願いしたいと思います。

成功の法則その 8

変化はコントロールできない、出来ることはその先頭に立つことだけである。

ピーター・F・ドラッカー

北高の同窓会でも、また基金会でいろんな話をしている時も感じましたが、今どんどん世の中が変わってきています。その中で、出来ることはその先頭に立つことだけかなあと思いました。そのためのひとつとしてワンピースを読みました。

本日のビジター紹介

佐世保ロータリークラブ	見藤 史朗様
	納所 佳民様
佐世保南ロータリークラブ	角 康隆様
	桟 宗利様

幹事報告・八重野 一洋君

1．例会変更
・**有田ロータリークラブ**
９月１３日（火）１８：００～
保名 岡部ガバナー補佐クラブ協議会のため
１０月１１日（火）１８：３０～
かむら 観月例会のため

2．来 信
・**国際ロータリー**
ロータリー財団ニュースレター
「毎年あなたも１００ドルを」

・**ガバナー事務所**
９月のロータリーレートのお知らせ １ドル＝７８円

3．伝達・通知
特にありません。

週報制作：出席・会報委員会／芥川 浩一郎、西村 浩輝、四元 清安、浅野 訓一、後田 明子、馬場 貴博

ニコニコボックス　　担当：糸瀬 新君

田代 博之会長・富永 博美副会長・八重野 一洋幹事
本日は佐世保ロータリークラブより見藤様、納所様。佐世保南ロータリークラブよ角様、桟様多数の方にご来訪いただきありがとうございます。お陰様で席の方もほぼ満席となりました。本日の例会は財団・米山基金会の総会です。大切な総会ですので皆様ご協力をお願いいたします。

橋口 佳周君
本日は基金会の総会です。お時間をとらせて恐縮です。よろしくお願いします。卸団地のホープ納所君のご来訪を歓迎します。

馬場 貴博君
今月21日の誕生祝いの品ありがとうございました。皆様のエネルギーを受けて益々元気に新しい事を経験しながらロータリーライフを楽しんでおります。感謝申し上げます。

後田 明子君
誕生日、プレゼントありがとうございました。ついに私も21日に大台にのってしまいました。これから老化防止に心がけていきたいと思います。

本日の合計	6,000 円
本年度の累計	146,000 円

本日の卓話

■ 財団・米山基金会総会■

橋口 佳周ロータリー財団・米山奨学委員長



1. 基金会のこれまでの経緯
1992～1993年度佐世保中央ロータリークラブにロータリー財団委員会誕生
若いクラブであったので、ロータリー財団への寄付一度に$1,000は難しい⇒全員で積み金友の会を発足させPHFを出すようにした

1997～1998年度　積み金から基金に改定規約設定
2000～2001年度　創立10周年の記念に在籍会員全員PHFになり地区から表彰を受ける
2001～2002年度　規約改定米山記念奨学会への寄付もこの基金から出すようにする

2. 発足し２０年を経て
ロータリー財団・米山奨学会への寄付だけでなく、緊急にロータリークラブとしての寄付する必要ができたとき、現在の規約では対応できないのが現状である。
そのような時にも対応できるような規約の改正が必要になってきたので今回規約の改正を提案なする。

3. 規約改正の主要な点
1．名称の変更　「佐世保中央ロータリークラブロータリー財団・米山基金会」から「佐世保中央ロータリークラブ基金会」に
2．目的　追記　ロータリークラブとして必要且つ特別な案件に対し寄付を行うことを目的とする
3．役員会の構成　副会長を新たに入れる
4．第６条　追加　ロータリー財団・米山記念奨学会以外への寄付
提案原案に「総会において承認を受ける」を追記すること

4. ロータリー財団・米山記念奨学会について説明
「国際ロータリーのロータリー財団」（正式名称） 財務内容について

「米山記念奨学会」の現状

Memo

ＳＡＡ：鶴田 明敏君／音響：西村 浩輝君
次回例会／９月１日１２：３０～
次回献立／月見弁当